

# 元甲子園球児！「消防の甲子園」に向けて、日々奮闘中！！

## Q1. 消防を目指したきっかけを教えてください。

小学生時代の友だちのお父さんが消防士をしていて、とにかく全てがかっこよかったので将来こんなお父さんになりたいって思ったのが最初のきっかけです。小学生の頃の夢はプロ野球選手と消防士でした。

## Q2. 枚方寝屋川消防組合を選んだ理由を教えてください。

他市の消防もいくつか受けましたが、正直に言えば受かったのが枚方寝屋川だけでした（笑）。大学の4回生までずっと野球をしていたので、言い訳かもしれませんが勉強はあまりできていませんでした。そんな中でも合格をいただけたのは何かの縁だと感じています。

## Q3. 甲子園に出場した経験は現在にも活かされていますか。

消防は「隊」で活動するため、連携や信頼関係などのチームワークが大切になります。野球も同様にチームワークが大切なスポーツですので、野球を通して信頼関係の構築やチームワークの大切さを学べたことは今にも活かされていると思います。

また、消防では消防救助活動に不可欠な体力、精神力、技術力を競う消防救助技術大会があります。各地区で優秀な成績を修めることができれば全国大会に出場できます。全国各地から集まった代表がそこでまた競います。まさに「消防の甲子園」です。この「消防の甲子園」に出場し、枚方寝屋川の消防の技術の高さ、力強さをアピールしていけるように日々訓練に取り組んでいます。

## Q4. 現在も野球は続けていますか。

現在は、消防組合にある野球部に所属し、毎週水曜日に練習や試合などの活動を行っています。全国大会出場に向けて練習に励んでいます。部員はOBを含めると50名以上います。野球部には消防の様々な分野で活躍されている方が多いので、仕事でわからないことがあればすぐに聞けますし、野球を通して勤務場所が違う人とも知り合うことができ、仕事にも活かしています。

## Q5. 甲子園経験者ということに対して周りからの反応はどうでしたか。

何かを優遇されるようなことはないですが、毎年甲子園の季節になると「甲子園どうやった？すごいな」などの話をしてくれるので、コミュニケーションの一つの手段として役立っています。

## Q6.最後に受験を考えている方に一言お願いします。

何事も目標を達成するためには努力が必要です。特に消防の仕事はいつ起こるか分からない災害に対し、日々の備えが大切な仕事です。前向きにそしてひたむきに努力できる方がこの仕事に向いていると思います。



### Profile

名前 もりさわ こうへい  
森澤 昂平 (28歳)

階級 消防士

第92回全国高校野球選手権に出場。高校時代は1番ショート、主将としてチームを牽引。平成29年に入職し、2年間の消防担当を経て、救助担当へ。現在は高度救助隊員として活躍中。



入場行進時の様子